

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 890 号	氏名	Gianne Eduard L. Ulanday
学位審査委員	主査 佐藤 克也	副査 金子 修	副査 Laothavorn Juntra
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、有効な抗ウイルス薬やワクチンがないデングウイルスに対し、デングウイルスの NS3 蛋白質の機能であるプロテアーゼ活性を阻害する薬剤をスクリーニングする測定法を確立し、有望なシード化合物を同定することであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 NS3 蛋白質のプロテアーゼ活性測定法を確立するために、デング 2 型ウイルスの NS2b-NS3 蛋白質を大腸菌にて大量発現し、種々の蛍光発色ペプチド基質を用いて適切なプロテアーゼ活性測定法を検討した。シード化合物同定のために、確立した測定法を用いてプロテアーゼ阻害の可能性のある化合物ライブラリーを検索した。得られた結果は種々の統計学的手法等により解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、プロテアーゼ阻害効果を有する 3 種類の化合物がえられた。これらの化合物がデング 2 型ウイルス新鮮分離株の増殖を抑制することも明らかにし、確立した手法が有用であると考察した。以上、解析・考察は共に適切であり、今後のデングウイルスに対する薬剤開発研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はデングウイルスに対する薬剤開発研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			